

第1回事例研究

「自治体現場の最前線に学ぶ」

三重県の予算編成に学ぶ

～生活者起点と職員の意識改革による行財政改革～

1. 講 師 小山 巧さん：三重県総務局財政・施設分野総括マネージャー

2. 対 象 者 市町村職員で希望するもの

事例紹介：定員 200名

意見交換：20名程度

事例紹介は講演会形式で行います。

意見交換は事前申込み者を対象に、場所を移し実施します。

3. 実 施 日 平成14年7月24日(水)

事例紹介：午後2時～3時30分まで

意見交換：午後3時45分～5時まで

4. 会 場 (財)大阪府市町村振興協会マッセ OSAKA 5階

事例紹介：映像研修広場

意見交換：第3研修室

5. 内 容

三重県は知事の強力なリーダーシップのもと、生活者起点の行政サービスを目指し、職員が一丸となって改革を進めています。

特に財政制度についての改革は平成7年の知事就任の時より積極的に取り組まれ、現在は「政策推進システムに基づいた新しい予算編成」へと進化を遂げています。

小山さんには、三重県の改革に関する考え方やその具体的な改革の足取り、職員の意識改革について、実際の知事とのやり取りを交えてながらお話をいただきます。

6. 申込み方法

お申込みは各市町村研修担当課にお願いします。

(担当：マッセOSAKA研究課)